

# ハローワーク新宿と上智大学が 全国で初となる 「外国人留学生の国内就職支援に 関する協定」を締結しました

## 1 協定締結の背景

専門的・技術的分野の外国人労働者の積極的受入れの立場をとる我が国において、高度人材の卵である外国人留学生(以下「留学生」)の就職支援は、言うまでもなく重要な施策の一つです。

2008年、当時の福田内閣によって策定された「留学生30万人計画」のもと、我が国における留学生数は一貫して増加してきており、直近では31万人を超え、我が国には多くの留学生が在留しています。(※1)

これら留学生は、グローバル化が進行する中で、我が国の経済活

力と潜在成長力を高めることが期待できる「高度人材の卵」として、日本国内の企業への就職についても期待されているところですが、日本における大学などの外国人留学生は、65%が日本国内の就職を希望しているにもかかわらず、実際の国内就職率は35%に止まっています(※2)。その原因として、「日本の就職活動の仕組みがわからない」という、日本特有の就職活動への情報不足が上位の課題に挙げられており、「留学生用就職情報の充実」の必要性が指摘されています(※3)。

厚生労働省では、このような現状を打破し、留学生の国内就職の促進を図るべく、ハローワークと大学が留学生就職支援に関する協

定を締結し、留学早期からその後の就職・定着までの一貫した就職支援を実施することを、留学生支援に関する重要施策として掲げ、政府の「成長戦略フォロアップ」(令和2年7月17日閣議決定)にも盛り込んだところ(※4)です。

こうした背景のもと、去る2020年11月5日に、ハローワーク新宿(東京外国人雇用サービスセンター)と上智大学とが、全国で初となる「外国人留学生の国内就職支援に関する協定」を締結しました。(※5)

※1 (独)日本学生支援機構「令和元年度外国人留学生在籍状況調査結果」:令和元年5月1日現在 312,214人(大学等 228,403人。日本語教育機関83,811人。)

※2 (独)日本学生支援機構「平成30年度外国人留學生進路状況・学位授与状況調査結果」:平成30年度中に卒業(修了)した留学生58,174人(うち大学(学部・院)26,602人、そのうち日本国内就職者9,330人)

2020年11月5日(木)上智大学内で、全国で初となる「外国人留学生の国内就職支援に関する協定」を締結した、上智大学・<sup>てるみち</sup>暁道学長(左)とハローワーク新宿・永野所長(右)。

調印式の様子はテレビや新聞で報道されるなど関心の高さを伺わせました。



同「平成29年度私費外国人留學生生活実態調査概要」:平成30年1月に実施した私費外国人留學生を対象としたアンケート

に回答した5,704人中、3,682人が「日本において就職を希望」と回答(その他、日本進学希望、出身国就職希望などの中から複数回答可)。

※3 「外国人留學生の就職及び定着状況に関する調査結果」(2015年3月経済産業省)における外国人留學生や高度外国人材へのアンケート調査(複数回答可)によると、就職活動上の課題として、「日本の就職活動の仕組みがわからない」、「留學生用就職情報の充実」を挙げることが多く、日本特有の就職活動への情報不足が見て取れる。

※4 成長戦略フォローアップ(令和2年7月17日閣議決定)..  
「留学早期からの留學生に対する一貫した国内就職支援を実施するため、2020年度中に大学と労働局(ハローワーク)の

間で協力協定締結等を通じた連携強化を図る。」

※5 取組の概要は以下のURLよりご覧ください。

○厚生労働省プレスリリース:

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_14522.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14522.html)

○厚生労働省フォトレポート:

<https://www.mhlw.go.jp/stf/photo/2020/11/ph110501.html>

○東京外国人雇用サービスセンターホームページ:

[https://jstc.mhlw.go.jp/tokyo-foreigner/news\\_topics\\_00003.html](https://jstc.mhlw.go.jp/tokyo-foreigner/news_topics_00003.html)

## 2 留學生就職支援協定の内容と効果

全国で初となる「外国人留學生の国内就職支援に関する協定」(以下「留學生就職支援協定」)は、ハローワークと大学が就職支援協定の締結による連携体制を構築することで、留学早期から留學生をサポートし、日本特有と言われるその就職活動のスケジュール等に乗り遅れることがないように、就職・定着に向けて伴走型で支援するも

ので、そのポイントは次のとおりです。

### ◆ハローワークの役割

・留学間もない時期からの就職に関する情報提供のための講師派遣

・インターンシップ、企業説明会、就職面接会などの情報提供

・既卒者への支援、就職後の職場定着に関する支援

### ◆大学の役割

・学内留學生へのハローワークの支援内容の情報提供

・ハローワークが実施する支援内容への参加実績の把握、評価など

・大学キャリアセンターにおけるハローワーク支援内容も踏まえた個別相談

また、この留學生就職支援協定によって次の効果が期待できます。

① 留学早期からハローワークが関与することで、留學生が日本特有の就職活動のスケジュールに乗り遅れることを防ぐ。

② 大学からハローワークに対

し、留學生の関心・課題などの情報が共有されることで、これまで以上に個々の留學生の状況を踏まえた効果的なアプローチが可能となる。

③ ハローワークが提供する就職ガイダンスや個別相談などの支援について、大学側から(留學生の評価などを通じた)フィードバックを受ける仕組みにより、絶えず質の高いコンテンツが提供可能となる。

④ 既卒者への継続的な支援の実施。民間就職支援機関が得意としない入社後の職場定着支援について、企業サイドへの働きかけや研修プログラムの提供などにより、就職後のフォローも手厚く実施できる。

## 3 外国人雇用サービスセンターによる丁寧な就職支援

この協定締結の「肝」は何と言っても「外国人雇用サービスセンターの丁寧な就職支援」に他なりません。

全国4つの地域(東京・愛知・大阪・福岡)に設置されている外国人



雇用サービスセンター（以下「外国人センター」）では、専門のスタッフが留学生を含む高度人材の国内就職に向けて日々奮闘しています。ハローワークにも様々な種類がありますが、その名のとおり外国人雇用サービスセンターには外国人支援に関する様々な知識・ノウハウを持った職員・専門相談員が集結しており、その知見を活かして、窓口での求職者相談対応のほか、大学などに出向いて留学生に対するガイダンスや個別面談を実施しています。

本省でも各大学にヒアリングをすることがありますが、必ずと言っていいほど、「外国人センターは就職が難しい留学生にも丁寧に相談してもらえて助かっている」、「外国人センターの個別相談は人気がすぐに予約の枠が埋まってしまう」といった、外国人センターを高く評価するコメントをもらいます。

この点、大学への支援の提供は、今回の協定締結に限らず日常的に実施していますが、今回の協定締結は改めて外国人センターの存在を対外的にアピールすることができ

きる大変良い機会であったと考えています。

#### 4 終わりに

先日公表された、令和2年度大学卒業予定者の10月1日現在の内定率は、69・8%と、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、前年比マイナス7・0ポイントと大きく減少しており、そのような中で、留学生の就職活動も厳しい状況にあると予想されます。

厚生労働省としては、外国人センターにおける就職支援はもとより、今回のようなハローワークと大学との留学生就職支援協定を一つの取組モデルとして、留学生が誰ひとりこぼれ落ちることがないように、全力で支援していきたいと考えています。



## 最近の労働情勢

項目		令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	備	考
就業者数	実数(万人)	6,676	6,689	6,694	実数は原数値	総務省統計局 「労働力調査」
	前年同月比(%)	▲ 1.1	▲ 0.2	▲ 0.4		
完全失業者数	実数(万人)	206	210	215		
	前年同月比(%)	31.2	25.0	31.1		
完全失業率	(%)	3.0	3.0	3.1		
	季節調整値(%)	3.0	3.0	3.1		
新規	求人(%)	▲ 27.8	▲ 17.3	▲ 23.2	前年同月比	厚生労働省 「職業安定 業務統計」
	求職(%)	▲ 2.6	▲ 2.5	2.8	季節調整値	
	求人倍率(倍)	1.82	2.02	1.82		
有効	求人(%)	▲ 26.6	▲ 25.5	▲ 23.2	前年同月比	
	求職(%)	12.2	▲ 2.5	16.5	季節調整値	
	求人倍率(倍)	1.04	1.03	1.04		
就職件数	実数(千件)	90	103	110	実数は原数値	東京商工 リサーチ調べ
	前年同月比(%)	▲ 17.2	▲ 16.2	▲ 15.0		
企業倒産	実数(件)	667	565	624	負債総額	
	前年同月比(%)	▲ 1.6	▲ 19.5	▲ 20.0	1千万円以上	